

月の館

信濃観月文庫

通信

麻績村

発行/信濃観月苑

長野県東筑摩郡麻績村麻 8059-2

TEL・FAX (0263)67-3933

第33号

枯木裡龍吟

こぼくりのりゅうぎん



麻績村信濃観月苑
 桔梗幻想
 下田恒西

草木屋の百色

椿と山茶花

山崎樹彦

染色との関係では灰汁として

活用される椿は、染まるんです

かとよく質問されましたが、「い

や、たいした色は出ませんよ」

と受け答えしていました。

灰汁としては名高く、葉に多



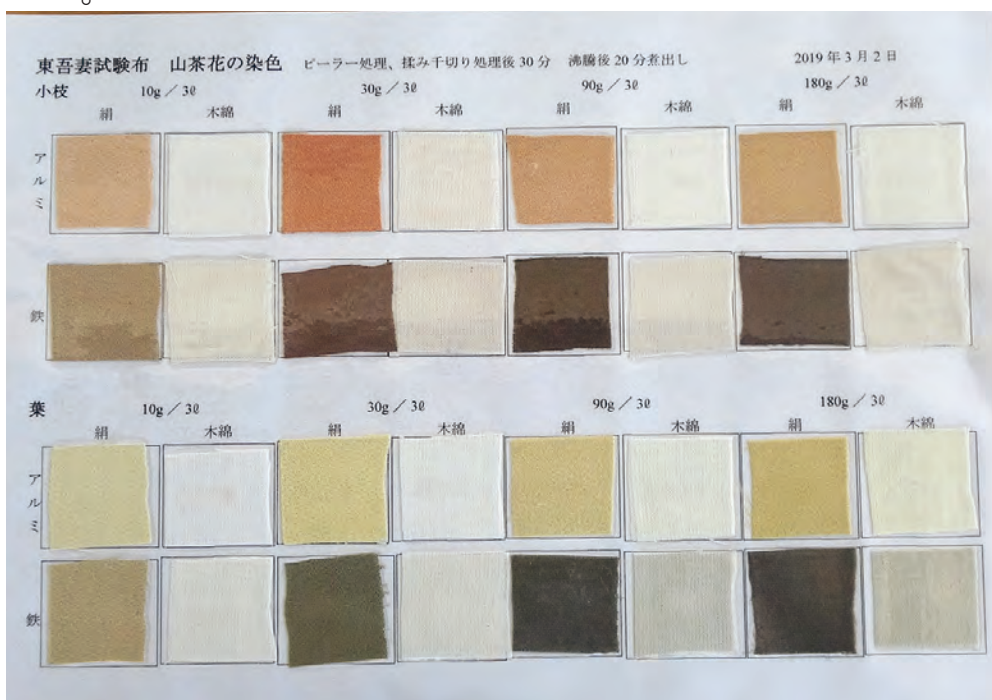
く含まれるアルミが灰汁に溶出して、媒染液として使われてきました。燃えきるまで燃やしてしまい、白灰にし、篩にかけ、湿気ないように保存します。椿の葉は油分を含むため、生の葉でも燃え始めればよく燃えます。我が家では、鉄の波板の上のせて枝ごと燃やしてしました。パチパチと火炎を上げ、もうもうと白煙が立ち昇ります。

焚火が問題になる前から、近所迷惑なため、一度乾燥させた後、焼却炉で燃やしていたこともありましたが、生葉でなければいけないのかの検証は未だ出ていません。近年では焼却炉でも燃やすことが出来なくなつたので、椿灰は自分ではもう作れないと思います。

アルミは酸性液に溶け、明礬（硫酸アルミ）や酢酸アルミとして使われる代表的な媒染剤ですが、アルカリ性の液にも溶出するので、椿をはじめ、アルミ分を多く含む植物（クロキ、ハイノキ、サワフタギ、サカキ、ヒサカキ、杉など）の灰汁も活用されてきました。鉄は酸性液には溶

けてもアルカリ性液には溶けないので、植物が鉄分を含んでも灰汁には溶出しません。鉄の波板で椿を燃やしても問題はないのはそうした性質によるものです。

最初に椿と山茶花の染色をし





たのは大雪の後でした。山茶花の枝が雪の重みで折れ、処理に困った時のことです。せっかくだから染めてみようかと雪で折れた他のいくつかのものと一緒に試験布染めをしました。その当時、小枝の染色は通常2〜3cmに切り、煮出し、葉の染色は小さな葉ならそのまま、大きな葉なら煮出す水に浸る程度にハサミで切り煮出していました。その時は折れた枝も葉も少量でしたので、よ

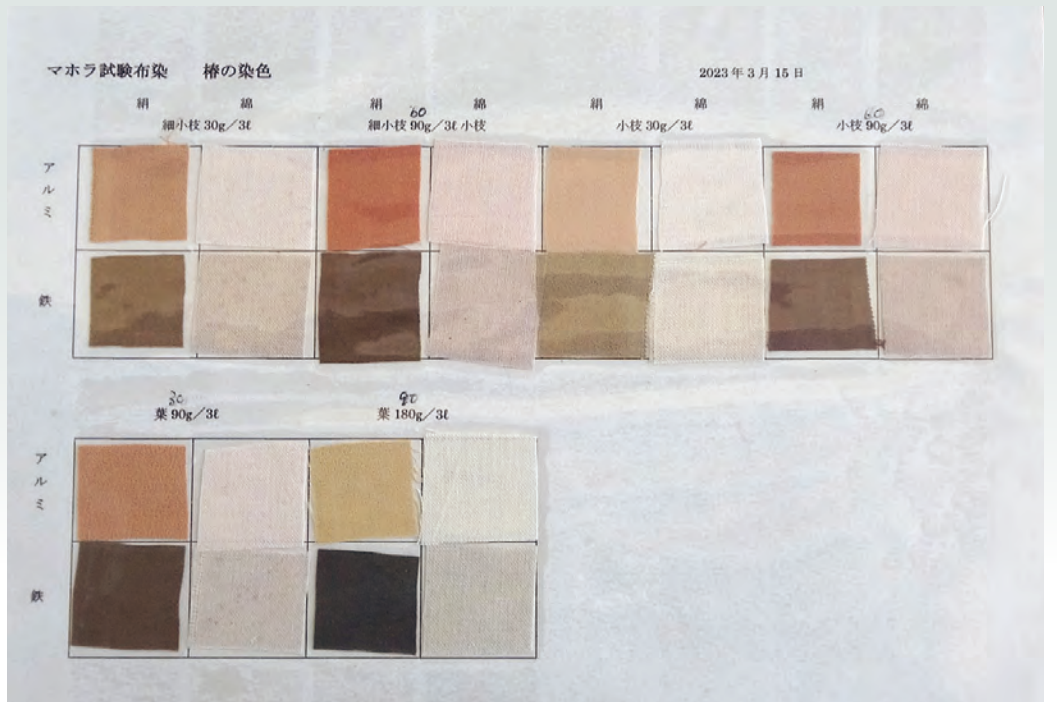
り色素が溶出しやすいように小枝はピーラーで皮をむき、材の部分も縦に裂くように切り、葉もソヨゴのように揉み千切りを試してみました。沸騰後20分強火

で煮出しましたら、小枝は綺麗な赤茶、葉は黄色に染まりました。ピーラー処理や揉み千切りにより植物自身が持つ酵素が作用し、鮮やかな色相が得られたようです。その後、小枝はピー

藍熊試験布 山茶花・椿の染色 2018年3月22日

山茶花		椿	
30g 葉 もみ千切り 10:20~			もみ千切り 11:00~
30g 葉 アルカリ煮出			
30g 小枝 皮もき処理 10:30			皮もき 11:15
30g 小枝 アルカリ煮出			

アルカリ煮出しは 1-97%3g/水2Lで沸騰後20分煮出し 酢約70mlを加えてPH5に調整し染色



ラー処理をしたものとしな
の、葉は揉み千切りの有無、染
料と水の量は5g/1ℓ、10
g/1ℓ、15g/1ℓ、20g/
1ℓ、25g/1ℓ、30g/1ℓ、
煮出した液の酸化処理、染色後

の湯洗い効果、採集時期などを
視点に試験布染めを繰り返しま
した。個体差によって色素量の
多寡はあるようですが一年を通
じて葉でも比較的安定した染色
が出来るようです。

土壌、樹齢、日当たり、気候、様々
な要因で染料となる植物は微妙な特
色を持っています。知り合いには染
色の結果を伝え、この木を大切にし
ておいてくださいとお願いしました。
「また、よい時期に必要なだけもらい

知り合いの庭にある
椿の木で採
集させてい
ただいたこ
とがありま
す。花が色
も形も平凡
なので、枯
れてしまっ
てもかまわ
ないので、
自由に切っ
てください
と言われた
のですが、
染めてみる
ととても良
い色を出す
椿でした。

に来ますから。ほら、こ
んなに良い色に染まりま
したよ」と染色もするそ
の知人に見せびらかして
帰りました。その後、そ
の方からの質問が絶えま
せん。

山崎 樹彦 (やまざき たてひこ)



一九五八年 群馬県高崎市生まれ
一九八二年 北海道大学理学部卒
父、山崎青樹の経営する草木染研
究所に入所
実務を担当していた叔父、篠崎節
に草木染及び草木染型染を学ぶ
二〇一一年 群馬県富岡市妙義町に
移住
風土に根ざした草木染の確立に向
けて研究、創作を行っている
草木屋代表、草木染伝習所主宰

ギャラリー展

予定は変更になることがあります。

草木屋 草木染展

6月1日^土～6月17日^月

出展／山崎樹彦・澄子 山崎杜人・山崎美季・山崎梢

きりえ展 諏訪の龍神様

7月2日^火～7月30日^火

出展／日達 Charles・日達れんげ

更級花織工房展 ～あんずのいのちを絵絣に織る～

8月23日^金～8月29日^木

出展／窪田孟恒 窪田紘子 協力：永岡真由美

岸田怜作陶展は常設展示となりました。

天山窯 一條隆好作陶展

9月28日^土～10月14日^月

出展／一條隆好

ギャラリー展は4時30分まで、展示最終日は午後3時迄です。
冬期間や空いている間に、お宝展、草木染の展示をすることがあります。
貸館も致します。

観月苑文化講座

参加者募集中

予定は変更になることがあります

漢詩講座

【第3木曜日】

10:00～11:30

会費／月1,000円

(前期・後期とも各6,000円)

講師／「岳」同人窪田英治

今年度で終了し、「奥の細道」の
講座に戻る予定です。

唐詩選に入り佳境ですので途中
からでもご参加ください。

催し物 案内

第32回月の里俳句作品募集

募集締切
8月31日

大人 3句一組（何組でも可） 投句料／一組 1,000円 高校生は無料
おおむね小学3年生～中学生 2句まで 投句料無料
選者／「信濃俳句通信」主宰・佐藤文子
「岳」編集長・小林貴子、「梟」同人・水上孤城

予定は変更になることがあります。

第24回曼陀羅の里お月見俳句大会

10月5日

予定は変更になることがあります。

13:00～16:00

当日句 2句一組（自由題）

会費／1,500円（投句料・聴講料・昼食代）

選者／「信濃俳句通信」主宰・佐藤文子、「岳」編集長・小林貴子、「梟」同人・水上孤城

茶室清香亭月釜

松林のなかの茶室にて季節のお点前をおたのしみください。

時間 10:00～14:00 日時は変わることがあります。

会費／一席 600円 点心&お抹茶 2,500円（要予約。5名様以上）

4月29日 武者小路千家 亀の香茶稽古の会（松本市）観月堂

5月19日 表千家流 清流会矢口社中（筑北村）

6月2日 石州流 芳香庵松悠（筑北村）

煎茶道黄檗東本流 長瀬鶴早（中野市）耕月軒

6月16日 裏千家 島津宗純社中（長野市）



ニッケルハルパコンサート

5/25 14:00～15:00

場所／月の館大寄せの間

ニッケルハルパ演奏と語り／せきざき なつこ関崎 奈都子



みんなで歌いましょう! 合唱指導とテノール独唱

6/16 14:00～16:00

場所／月の館大寄せの間

講師●テノール独唱／しまづ かずへい島津 和平

ピアノ伴奏と独奏／津金 真裕美



奥村 美佳ピアノコンサート

9/1 14:00～15:30

場所／月の館大寄せの間

参加費／おとな 1,500円

ピアノ／奥村 美佳

下形和美ライアーコンサート

5/18 13:30～15:00

場所／月の館大寄せの間

ライアー／下形 和美



インド舞踊・フラダンス・ベリーダンスの会

8/25 14:00～15:30

場所／月の館大寄せの間

ダンス／杏シスターズ他

第三十一回月の里俳句入選作品

一般の部

佐藤文子選

特選

名月を宿して閑か千曲川
赤のまま束ね輪禍を弔ひぬ

池田佐奈恵
山崎 妙子

秀逸

途中下車してみたくなり赤蜻蛉
どんぐりや転がるやうに月日過ぐ
田の水を動かすたびに蝌蚪さわぐ

新田 順子
新田 順子
矢原 恵子

水上孤城選

特選

郭公や家もフエンスも椅子も白
赤ちやんの肌色したる尾花かな

久根美和子
池田佐奈恵

秀逸

コンビニの朝五時の棚秋の声
両脇にカボチャ抱えて猿走る
赤蜻蛉球児の頬を掠めゆく

林 正山
古林 孝子
井口 優子

小林貴子選

特選

花合歓や星の神話の愛と憎
八月尽どこか青筋立つ体

久根美和子
酒井 和子

秀逸

膝行に床の硬さや夏袴
電痕の黒子そのまま青林檎
田の水を動かすたびに蝌蚪さわぐ

荻上 憲治
中村 百仙
矢原 恵子

小学生の部

佐藤文子選

特選

あいさつはげんきがでるねおまじない
こいのぼりほーほーないてる風の音

共和小学校 三年生 下條 結衣
共和小学校 二年生 吉池 祐惺

秀逸

町中がゆうやけ色にそまつてく
うん動会楽しんでいけばまけしらず
会えるのを楽しみに待つ天の川

麻績小学校 五年生 丸山 正子
共和小学校 二年生 小山 鍊
共和小学校 六年生 安藤 風花

水上孤城選

特選

会えるのを楽しみに待つ天の川
七夕のささの葉かかる願い事

共和小学校 六年生 安藤 風花
共和小学校 四年生 小笠原彩乃

秀逸

ころもがえタンスをしめて指はさむ
ひまわりとならんでくらべる私の背
燕の子顔より口が大きくて

共和小学校 四年生 山田 端
共和小学校 五年生 山田 理央
共和小学校 五年生 宮澤 颯馬

小林貴子選

特選

はんそでは夏のかっこうさあそとへ
つかみどり白馬の川でニジマス

麻績小学校 五年生 飯森菜々湖
共和小学校 二年生 小山 鍊

秀逸

かき食えばとなりさるがいたりして
夏休み海に入ってもどされる
ころもがえタンスをしめて指はさむ

共和小学校 五年生 大槻 司
筑北小学校 四年生 関川 陽紀
共和小学校 四年生 山田 瑞



耕月軒の降りつくばい

耕月軒の楓

信濃観月苑をご利用ください

広く文化活動や研修会、お茶会等にどうぞ
お問い合わせ・ご予約 TEL/FAX 0263-67-3933
メール kangetsu@vill.omi.nagano.jp

小間の茶室「清香亭」

■利用料金 / 1会 10,000 円



ギャラリー

展示発表の場としてご利用ください。

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円



観月堂

お茶会、句会、月見の宴などにご利用ください。

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円



大寄せの間

(2F 40畳和室) ステージ付

お茶会、お稽古、句会、研修会、コンサート会場などにご利用ください。

■利用料金 / 半日 3,000 円・1日 6,000 円



広間の茶室「耕月軒」

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円

グランドピアノ KAWAI GM-10 ご使用時

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円

信濃観月苑

長野県東筑摩郡麻績村麻8059-2 〒399-7701
TEL/FAX (0263) 67-3933

開苑時間 午前9時～午後5時
休苑日 毎週火曜日(火曜祝祭日は開苑、水曜休苑)
入場料 個人 高校生以上 300円
 小人 150円
 団体 20名以上2割引

